

## 新規自社開発を前面に

株式会社 タカノ建築



代表取締役 高野秋雄氏  
柏崎市加納2776-1  
Tel.35-6025 Fax.35-6856

桜が散り小雨が降る四月下旬、市内加納にあります株式会社タカノ建築さんを訪ね、代表取締役 高野秋雄氏からお話をお聴きしました。高野氏は一九五三年九月、市内宮平生の六十五歳。鯖石小学校、鯖石中学校卒業後、父親が大工さんだったと言う事もあり、市内の建設会社に勤務しながら夜間職業訓練校に三年間通われたそうです。その後、長岡の建設会社に四年、神奈川県横浜市の西武不動産に六年間お勤め後、二十八歳の時、結婚を機に柏崎に戻り地元の工務店に三十三年間勤務され、技術や営業の知識を習得されたそうです。その工務店を定年退職後の六十歳の時、「タカノ建築事務所」を創業。五年後の昨年十二月に「株式会社 タカノ建築」を設立して社

名を変更したそうです。

主な仕事内容をお伺いすると「建築全般で設計施工が主な仕事内容です」今は仕事が決まれば外注にお願いしているとのこと。

そんな高野氏のご家族は五人家族。「妻は自社の会社役員です。長女は介護施設に勤務で、長男は潜水会社に勤務しています。そして次男も自社に勤めています」

ご趣味は？

「家庭農園と山菜採り。そして金魚と鯉の飼育です。今は十三匹います」

今流行りの家庭農園はこれからが時期ですね。鯉は小千谷の方から仕入れる事もあるそうです。

会社名の由来は？

「今はハウスメーカーもそうですが社名にカタカナが多く使われているのもあり、カタカナにしました」今の時代を象徴していますね……

今後会社で取り組む事は？

「設計施工のリフォームや新築工事で、昔ながらのお客さんはもちろん、新規のお客さんを増やしたいですね。後は自社開発として企画住宅や木製カーポートを売りだしたいですね。県内の地域性を考えると

カーポートは木製が強いですよ」チラシを配布しながら営業しているそうです。

高野さんのお話を聞いているとお客様の事を第一に考えている方だと思います。最後に事務所脇に有ります池の鯉を拝見させて頂き「大きい鯉！」と絶賛しながら取材を後に行いました。

(十人衆 町・竹取材)

